

光を浴び 風を受け

縄文の衣が舞う

そのときそこは

宇宙に変わる

「喜びを伝える風と時間の祝祭」

縄文の衣

JOMON
ファッション

縄文から現在、未来を繋ぐ、
茅野の風土と人々の想い。
衣装デザイナー・時広真吾と市民が
「衣」をテーマに表現する
パフォーマンスを創作します。
小学校の体育館が
劇的な時空間に変わります。

パフォーマンス | 日時:2017年9月16日(土) 16:30開演 会場:茅野市立永明小学校 体育館 監修:時広真吾(衣装デザイナー)

パフォーマンス参加者募集

縄文から現在、未来を繋ぐ、大地の「土」を素材にした染色による衣装をまとい、
パフォーマンスを創作する参加者を募集します。

募集人数	大人20名(中学生以上)、こども10名程度(小学3~6年生) ※先着順
日時	2017年8月11日(金・祝) 13:00~17:00 9月13日(水)、14日(木)、15日(金) 各19:00~21:00 9月16日(土) 13:00~18:00 ※永明小学校体育館でのパフォーマンス有り
会場	茅野市民館 マルチホール、茅野市立永明小学校 体育館(16日のみ)
参加費	無料
申込み方法	茅野市民館窓口にご直接お越しいただくか、お電話にてお申込みください ※衣装制作などに関する参加希望についてはお問合せください
お問合せ	茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 Tel:0266-82-8222 窓口受付 9:00~20:00 火曜休館



監修
時広 真吾
衣装デザイナー

山口県生まれ。1991年にモーツァルトのオペラ「魔笛」より、舞台衣装デザイン開始。以後国内外で活躍。2011年クアラルンプールとベナンにて、衣装展開催。シェイクスピアの衣装でヨーロッパ5ヶ国巡演。和太鼓芸能集団「鼓童」、東儀秀樹などの衣装を手がける。「四つ花の会」、「美の種」プロジェクト等プロデュース。デザイナー、写真家、詩人、パフォーマーをこなし、海外ではオールラウンド・アーティストとして評価される。